

# 議員一般質問目次

令和8年第2回定例会

No.	氏名	通告事項	頁
1	宮坂千尋	1 世代間交流を見据えた公園整備の考え方について	1～2
2	阿部 薫	1 内山地区不動沢川流域環境整備を	3
		2 旧女川四小二中建物状況調査の結果と今後の活用は	4
		3 町道浦宿17号線道路拡幅事業案について	4
3	隅田 翔	1 放課後の居場所について	5～6
		2 総合運動公園の施設整備について	6～7
4	高野 晃	1 住民の不安に寄り添う原発行政を	8～9
5	阿部 律子	1 介護保険の現状と制度改善を	10～11
		2 孤独死を防ぐために	11
6	鈴木 公義	1 町制施行100周年に向けて	12
		2 保育所の防犯対策の強化は	13

【質問者6人・質問事項11件】

質問事項	質問の要旨
<p>1 世代間交流を見据えた公園整備の考え方について</p>	<p>町民が、日常の中で集い、笑顔が生まれ、健康を実感できる場をどう再生していくかは、これからの町づくりにおいて非常に重要な視点であると考えます。公園は子どもにとって成長と学びの場であり、高齢者にとっては健康維持や介護予防、そして世代を超えた交流が自然に生まれる、地域に欠かせない公共空間です。</p> <p>震災前には、総合運動公園に遠足で訪れる保育園なども多く、子ども達の声が響く、活気ある場所でした。そうした本町ならではの良さを、次の世代へとつなぎ、将来に渡って誇れる町を築いていくことがこれからの町づくりにおいて重要であると考えます。以上を踏まえて、公園と遊具のあり方について3点伺います。</p> <p>(1) 各地区の公園への遊具設置は、どのような考え方や条件のもとで判断されているのか伺います。</p> <p>(2) 町民の健康増進や世代間交流の場づくりという観点から、今後の各地区公園整備において、新たな視点の遊具新設や更新を検討することについて見解を伺います。</p>

質問者 宮坂千尋

質問事項	質問の要旨
	<p>(3) 各地区の公園整備とは異なる着目点での整備を図ることで、小さな子どもたちが行ってみたいと思う楽しい公園、町民が集い語らう憩いの公園として魅力づくりを行うことが必要と思います。</p> <p>復興まちづくり基金を活用して、総合運動公園をマッシュパーク2とし、震災前のような賑わいを取り戻す場として再生していく考えはあるか、見解を伺います。</p> <p>(質問の相手：町長、教育長、担当課長)</p>

質問事項	質問の要旨
<p>1 内山地区不動沢川流域環境整備を</p>	<p>今年、町制施行100年、また、東日本大震災発</p>
	<p>生15年目にあたりますが、未だ、行政の目が届かな</p>
	<p>い地区が散在しています。</p>
	<p>今回は、町内中小河川60数か所のうち、内山地区</p>
	<p>不動沢川流域を取り上げ、伺います。</p>
	<p>(1) 現在整備中の内山道路が横断する不動沢下</p>
	<p>流は、私的財産処理問題の建物があり、付近</p>
	<p>には違法性のあるトタン囲い施設跡があるの</p>
	<p>は承知していますか。</p>
	<p>(2) 不動沢川の下側には、西区の住宅地が広が</p>
	<p>り、河川からの影響による雨水被害等が心配</p>
	<p>されます。被害予想を考慮した環境整備が必</p>
	<p>要と考えますが、町の見解を伺います。</p>
<p>(3) 不動沢川は西区と上三区の行政区の境目と</p>	
<p>なっていますが、両区の川沿いの土地に配慮</p>	
<p>した今後の環境整備策を検討していますか。</p>	
<p>(質問の相手：町長、担当課長)</p>	

質問事項	質問の要旨
<p>2 旧女川四小二中建物 状況調査の結果と今後の活用は</p>	<p>出島大橋開通後、1年6か月が経過し、新しい出島を望みつつ、今日を迎えています。出島にあった第二中学校と第四小学校の建物や土地を活用することで、効果的な振興も図れると考えますが、そこで伺います。</p> <p>(1) 旧女川四小二中建物状況調査の結果について伺います。</p> <p>(2) 校舎のほか、体育館やグラウンド等を含めた、用地の総面積は。</p> <p>(3) 今後の校舎等の利活用について、町の見解を伺います。</p> <p>(質問の相手：町長、担当課長)</p>
<p>3 町道浦宿17号線道路 拡幅事業案について</p>	<p>道路拡幅事業の概要と進め方について、特に地元住民への説明は十分と認識されているか、見解を伺います。</p> <p>(質問の相手：町長、担当課長)</p>

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 放課後の居場所について	<p>本町では児童が安全・安心な放課後の時間を過ごせる居場所づくりとして「おながわ放課後楽校」の取組が実施されています。ただ、令和7年度で事業は終了するとのことで保護者に通知が出されていますが、そこで伺います。</p> <p>(1) 放課後楽校は児童の居場所づくりに止まらず、多世代との交流や学びの場としても活用されており、事業の継続を望む声も多いと認識しています。今回の事業終了に至った経緯について伺います。</p> <p>(2) 代わりとなる講座を検討されているとのことですが、頻度や確実に実施されるのかも示されておらず、保護者や児童の中には、放課後の居場所がなくなるのではと不安が生じていると認識しています。スポット的ではなく継続的な講座の開催による放課後の居場所づくりが求められていると思いますが、見解を伺います。</p> <p>(3) 放課後楽校の終了に伴い、放課後児童クラブへの児童の集中が懸念されますが、全ての児童の受入れ態勢は整っているのか、見解を</p>

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
<p>2 総合運動公園の施設整備について</p>	伺います。
	(質問の相手：町長、担当課長)
	<p>1983年に開館した女川町総合運動公園は、町内外の各種団体や大会などで多くの方に利用され、利用者の数も東日本大震災やコロナ禍を経て、近年では増加傾向にあります。先人が築いた施設をさらに充実させるための施設整備について伺います。</p>
	<p>(1) 各施設の老朽化に伴い、近年では大体育室の床張替え工事や野球場スタンドの防水工事など大掛かりな工事が実施されましたが、施設全体が老朽化しており、庭球場周辺では冬場に使えないトイレや停止したままの時計など、利用者からは不便で整備すべきだとの声が寄せられます。今後の施設の整備計画について伺います。</p>
	<p>(2) 昨年の議会で総合体育館の災害時や暑さを含めたエアコンの整備について取り上げました。夏の暑さは年々厳しさを増しており、災害も待つてはくれません。</p>
	<p>役場内での議論を加速し、国の交付金等の活</p>

質問事項	質問の要旨
	<p>用も検討しながら整備を進めていくべきと考えます。新年度での取組について伺います。</p> <p>(3) 女川町子ども計画の保護者アンケートにおいて、「子育てに関して悩んでいること・気になること」の項目では依然として「近所に公園や子どもを遊ばせる場所がないこと」が最上位です。夏の猛暑や冬の寒さを避けながら安心して屋内で遊べる場所が求められています。</p> <p>第二体育館（旧女川小学校体育館）を活用し、子どもの屋内遊び場を通じて多世代の交流を生み出す施設として整備することを提案します。既存の利用団体の活動場所を確保しつつ、町内の子育て環境を充実させ、町外からも人を呼び込める施設にすることで、有効活用が図られると考えますが、見解を伺います。</p> <p>(質問の相手：町長、教育長、担当課長)</p>

質 問 者 高 野 晃

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
<p>1 住民の不安に寄り添う原発行政を</p>	<p>一昨年(2019年)の12月26日に営業運転を再開した女川原発2号機ですが、機器等の不具合がプレスリリースされています。その中で疑問を抱いた点、また、中部電力浜岡原発での耐震データ不正にかかわった業者が女川原発のデータを作成していました。</p> <p>このことについて伺います。</p> <p>(1) 5月26日及び6月20日に不具合が確認された水素濃度検出器の案件について詳細を伺います。</p> <p>(2) 10月22日の定期試験中に手動での動作が不能になった制御棒について原因及び対策等を伺います。</p> <p>(3) 1月5日に中部電力で耐震設計に関わる基準地震動を作成する際、データを意図的に数値が低くなるよう操作していた問題があったことを公表しました。この地質調査を委託されていた業者のうち、2社が女川原発に関わる地質調査の委託先にもなっています。規制委員会に対して事業者基準地震動の算出に用いたデータを提出させ、関連団体ではなく第三者委員会等で安全性を総点検するよう要</p>

質問者 高野 晃

質問事項	質問の要旨
	請すべきではありませんか。
	(質問の相手：町長、担当課長)

質問事項	質問の要旨
<p>1 介護保険の現状と制度改善を</p>	<p>介護保険は2000年4月に「介護の社会化」としての制度が開始されてから、25年が経過しました。</p> <p>1年前にも介護保険制度について質問しており、その時、女川町は訪問介護事業所が一つの自治体でしたが、現在は、訪問介護事業所がなくなり、全国で116町村ゼロの中に入っています。現状は近隣の事業所へ依頼している実態ですが、次の点について伺います。</p> <p>(1) 統計書によると、介護サービスの提供状況は、375人のうち在宅は260人（令和6年度）ですが、現状について地域ケアネットワーク会議での課題等詳細を伺います。</p> <p>(2) 厚生労働省は2027年にむけて「利用料の2割負担の対象拡大」「ケアプランの有料化」「要介護1、2の生活援助サービス等を総合事業に移行」等の制度の見直し案を出していますが、2025年6～7月に共同通信社が自治体（47都道府県、1741市町村長）を対象にアンケート調査を実施した結果では、9割を超える自治体が「介護保険制度の持続可能性」に対して強い疑義を抱いているという実態が</p>

質問事項	質問の要旨
2 孤独死を防ぐために	明らかになっています。このことについての
	見解は。
	(3) 国に対して介護保険財政の国庫負担、引き
	上げを訴えていくとともに、町としての独自の
	支援策も必要ではないでしょうか。
	(質問の相手：町長、担当課長)
	(1) 町では一人暮らしの高齢者などの自宅に緊急
	通報装置を設置し、安否確認を実施すること
	で、高齢者の生活の安定を図るとしていま
	すが、令和6年度の設置台数は43台です。な
ぜ、一人暮らしの方が600人ほどいると言われ	
ているのに利用者が少ないのですか。	
(2) 町として、もっと積極的に声掛けを行い、	
孤独死を防ぐ対策として普及させるべきと考	
えますが、見解を伺います。	
(質問の相手：町長、担当課長)	

質問事項	質問の要旨
<p>1 町制施行100周年に向けて</p>	<p>令和8年度は、本町の大きな節目を迎える年になります。これまで本町の発展を支えてこられた先人達のご尽力に対し深く敬意を表します。</p> <p>町制施行100周年という長い歴史の中で、幾多の困難を乗り越えながら時代の変化に対応し、今日の姿を築いてきました。この大きな節目は単なる通過点ではなく、これまでの歩みを振り返るとともに、未来への新たな一歩を踏み出す重要な機会であると考えます。そこで、次の点について伺います。</p> <p>(1) 本町これまでの100年の歩みを、どのように総括していますか。特に本町が大切に守り続けてきた価値や誇るべき点は何であると考えますか。</p> <p>(2) 100周年を契機とした記念事業等の取組、また郷土愛の醸成や次世代への継承につなげるための取組は。</p> <p>(3) 少子高齢化、人口減少に気候変動。日本はもとより目まぐるしく変化する世界情勢の中で、次の100年に向けての思いを伺います。</p> <p>(質問の相手：町長、担当課長)</p>

質問事項	質問の要旨
<p>2 保育所の防犯対策の強化は</p>	<p>近年、全国で保育施設や学校を狙った事件が発生しており、子どもたちの安全確保は重要課題です。そこで本町の保育所における防犯対策の現状について伺います。</p> <p>(1) 防犯カメラをはじめとしたハード面の整備状況は。</p> <p>(2) 危機管理マニュアルの整備や不審者侵入を想定した訓練の実施状況を伺います。</p> <p>(質問の相手：町長、担当課長)</p>